

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

別添資料5

公表: 2022年3月1日

事業所名 Plus+days平野校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		一人当たりの施設面積は十分だと思います。	
	2	職員の配置数は適切である	○		指導員・保育士・教員免許保持者などの多様性があります。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		子ども達が視覚的に部屋ごとの目的が分かるようになっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃、消毒など毎日行っており、子ども達も綺麗に使ってくれています。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		毎日、個人・職員間で振り返りとその共有ができるように取り組んでおります。	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様の意見を取り入れながら、業務改善を行っております。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		事業を点検・改善するために、自己評価を実施・公開しております。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○		行政アンケートを実施・公開しております。	
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		zoomを用いて、多くの職員で研修を実施しました。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		多くの職員で、お子様の課題を話し合い、計画書を作成しております。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		子どもの実態に合わせて、アセスメントツールを選択しております。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		児童発達支援計画の作成時には、様々な観点から、本人の成長と想定して、今必要な支援をスモールステップで考えております。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に基づいて、実施しております。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		子ども達の実態に合うように、複数人で検討しております。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		成長に合わせて、その都度、療育内容を変えております。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○		療育の内容や目的に応じて、集団形態を決めております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		支援内容について、立案と打ち合わせをして、取り組んでおります。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼を実施して、その日の子ども達の様子を共有して、振り返っております。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		学習の記録や様子を記録して、取り貯めております。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度、必ず実施しております。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		お子様への理解があるものと責任者が出席しております。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		情報共有を行っております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		現在、該当するご家庭が无いため、実施しておりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		現在、該当するご家庭が无いため、実施しておりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		送迎時などに、保育園や幼稚園の職員と情報共有をしております。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在、該当するご家庭が无いため、実施しておりません。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		現在の社会情勢から、そのような活動はしていません。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在の社会情勢から、そのような活動はしていません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		○		現在の社会情勢から、そのような活動はしていません。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡帳や送迎時など、話す機会を確保して、伝えるようにしております。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○	連絡帳を使って、事業所の様子を伝達しております。	具体的な支援の方法までは、伝えできていません。今後の課題と致します。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用契約の際に、説明しております。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		利用契約の際に、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ております。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者様から相談を頂いた際は、必要な助言と支援を行っております。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在、開催していません。必要性や要望などを加味して、今後も検討して参ります。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談や申入れがあった際は、その日の内に共有して、解決策を話し合っており、対応しております。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		HPIにて、頻繁に活動の様子を発信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		書類等は全て鍵のかかる棚に保管しております。	会話で個人が得られないように気お付けて参ります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		傾聴の姿勢を心がけております。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○		近くのお店と交流する活動を行いました。	もっと、交流する活動を計画して参ります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		全て策定して、周知しております。	年度途中から利用を開始されたお子様とその保護者様への周知も徹底して参ります。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎年、子ども達と避難訓練を実施しております。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	聞き取りの情報を職員で共有して、注意しております。	必要に応じて、医師の指示に基づく対応をして参ります。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		その都度、報告書を作成して、事前防止に努めます。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		虐待防止のため、カメラを設置するなどしております。	今後、職員研修を行って、参ります。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		子どもの安全を第一に、危険と判断される場面においてのみ行います。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。